

清流の国ぎふ

2020 地歌舞伎

勢揃い公演

三月

東白川村歌舞伎保存会 (東白川村)

東白川村には、相生座・神田座・日向座の三つの芝居小屋が存在し、村の娯楽の中心として地芝居(農村歌舞伎)が盛んに上演されてきました。しかし、旅役者の来演や映画の普及によって、昭和十年頃から一時中断され、戦後から昭和二十六年頃にかけて地元の愛好者の手により二・三回上演されたものの、テレビ等の普及により衰退し、三つの芝居小屋も取り壊されてしまいました。

その後、昭和五十年に地元の有志が集って「東白川村歌舞伎愛好会」を発足し、松本団升師匠の指導のもと、昭和五十二年九月二十九日(神田神社例祭日)に東白川中学校体育館で復活第三回公演を上演しました。平成六年には、文化施設「はなのき会館」完成に伴って、同会館に舞台を移し、団体名を「東白川村歌舞伎保存会」と改めました。そして新たな体制で郷土歌舞伎を後世に保存伝承していくため、復活第一回公演から毎年一回の定期公演を継続しています。



村国座子供歌舞伎保存会 (各務原市)

明治十年頃に建てられた「村国座」では、村国神社の秋の例大祭の奉納歌舞伎として、地歌舞伎が上演されてきました。この奉納歌舞伎の発祥は江戸時代後期とされ、村国座での上演は明治十五年に始まったと伝えられています。

かつては青年を中心とした大人が演じてきましたが、生活様式の変化や娯楽の多様化などにより、昭和三十年代の初めに一旦中断することとなりました。

しかし、昭和五十年頃、村国座の国重要有形民俗文化財指定をきっかけとして歌舞伎復活の機運が高まると、そのバトンは大人から子供へと手渡され、以来、変わることなく毎年秋に子供歌舞伎を上演しています。

現在、村国座子供歌舞伎は当保存会を構成する各務地区の三区(中組区・西組区・東組区)が二年ごとに交代して上演しており、担当地区の小学四年生から六年生が出演しています。三年に一回、一度限りの出演機会ではありますが、子供達にとって貴重な経験となっています。



新型コロナウイルス感染予防対策について 安心して参加いただくために、皆様のご協力をお願いします。

- ・発熱や風邪症状のある方は、参加をお控えください
- ・マスク着用の厳守(マスク非着用の方はご入場できません)
- ・手指消毒及び検温の実施(37.5℃以上の方はご入場できません)
- ・ソーシャルディスタンスの確保
- ・出演者への声援や歌唱、入り待ち、出待ちの禁止
- ・公演中のおひねり、大向こうの禁止

※「岐阜県感染警戒QRシステム」の登録をお願いします。
ご登録をいただきますと、感染者が発生した場合、同じ日に来訪された方にメールでお知らせいたします。

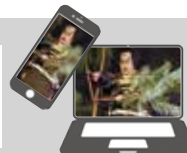
スタンプラリー再開



開催期間中、1公演ご鑑賞ごとにスタンプが1つたまります。スタンプ数に応じて素敵なグッズをプレゼント!
※木札を忘れずにお持ちください。

ぎふ清流文化プラザ YouTubeチャンネル

本公演の様子を収録し、後日配信します。



地歌舞伎とは

地歌舞伎とは、地元の素人役者たちによって演じられる、地域に根付いた歌舞伎です。江戸や上方で盛んであった歌舞伎は、地方を巡るプロの旅役者によって全国各地に広がり、それに憧れた地方の人々が神社の祭礼で演じたり、芝居小屋を造ったりと、自ら楽しむようになりました。現在、岐阜県には30を超える地歌舞伎保存団体が存在し、9軒の芝居小屋が各地に現存しています。岐阜県は全国有数の地歌舞伎が盛んな地であり、芝居小屋をはじめ、毎年各地で定期公演が開催されています。江戸時代から伝わる演目や振付が大切に受け継がれ、親しまれている岐阜県の地歌舞伎をご堪能ください。

清流の国ぎふ

2020 地歌舞伎

勢揃い公演

三月

2021年3月21日(日)

◆開演 14時00分 (開場13時00分)

◆会場 ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール

◆上演外題・出演

14時00分 (80分)

よしねせんぼんざくら

すしや だん

義経千本桜

縮屋の段

東白川村歌舞伎保存会 (東白川村)

15時40分 (30分)

いしざくらほんしょうそだち

なかのちよう ば

糸桜本町育

仲ノ町の場

村国座子供歌舞伎保存会 (各務原市)

◆終演 16時10分 (予定) 演目・上演順は変更となる場合があります。



イヤホン同時解説

演目の見どころやあらすじについて、分かりやすく解説します。

歌舞伎ソムリエ おくだ 健太郎氏



beyond 2020

日本博 JAPAN CULTURAL EXPO

文化庁

主催／岐阜県・(公財)岐阜県教育文化財団
協力／岐阜県地歌舞伎保存振興協議会
令和2年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

TOKYO 2020
応援プログラム



義経千本桜 鮎屋の段

東白山村歌舞伎保存会（東白川村）

壇ノ浦の戦いでの平家滅亡後も、三位中将平維盛は、大和国の鮎屋「釣瓶鮎」に、奉公人の弥助と名を変え身を潜めていました。そんな身分とは知らぬ鮎屋の看板娘 お里は弥助を慕っていました。そこへ、お里の兄でこの家から勘当されている、いがみの権太がやって来ました。権太は父親 弥左衛門の留守中に入りこみ、母親 りくを騙して金をせしめます。そこに弥左衛門が戻り、慌てた権太はすし桶の中に金を隠し、身をひそめます。弥左衛門は弥助（維盛）の父 平重盛に恩のある身でした。弥助（維盛）の身代わりとして差し出すため、討死にした小金吾の首を秘かに持ち帰り、すし桶の中に隠します。その夜更け、維盛の妻 若葉内侍と子 六代君が宿を求めて鮎屋を訪れ、偶然にも維盛と再会します。そこへ維盛捕縛のために梶原平三景時がやって来るとの知らせが入ります。事情を知ったお里は三人を父の隠居所に逃します。しかし、隠れて一部始終を聞いていた権太はすし桶を持ってこれを追います。そして、維盛の首を打ち取ったとして、生け捕りにした内侍親子と共に景時に差し出し、景時は褒美として頼朝公の羽織を与えて帰ります。

この所業に怒った弥左衛門は権太を刺します。瀕死の権太は、実は維盛の首と称したのは小金吾の首で、内侍親子は身代わりにした自分の妻子だったと明かします。維盛は無常を悟って出家し、弥左衛門は権太の心根に胸を打たれ、我が子を手にかけた悔恨の涙にくれるのでした。

◆配役

いがみの権太	田口 房国	六代君／善太	若井 風
弥助（実は三位中将平維盛）	安江 将永	梶原平三景時	安江 昭仁
鮎屋 弥左衛門	村雲 晴夫	左太	大西 紘記
りく	小林 裕幸	右太	安江 忠孝
お里	古田 真由美	捕り手	熊崎 恵子
若葉内侍／おせん	安江 千佳子	捕り手	伊藤 明子
		庄屋	林 昇

糸桜本町育 仲ノ町の場

村国座子供歌舞伎保存会（各務原市）

安永六年（一七七七年）、人形浄瑠璃を歌舞伎に書き替えた作品です。この作品を元に、子供歌舞伎用に演出されています。場面は江戸吉原仲ノ町の夜桜祭り。お祭り佐七が二丁目新助、衣紋坂利平、踊り子のお花を引き連れ、町内を練り歩きます。

景気付けに踊りを披露しているところへ本町丸綱五郎と半時九郎兵衛、共に男を張る名高い侠客が居合わせ、再び踊りが始まり賑わいます。

佐七たちは次の町へと花道へ入ると、綱五郎と九郎兵衛は一人の女をめぐり喧嘩になります。そこへ佐七が止めに入り丸く収まります。鞘当の趣向と立廻り、毛槍を使った所作ダテ、舞踊など華やかな一幕となっています。

◆配役

本町丸綱五郎	中島 涉吾
半時九郎兵衛	長縄 翠
お祭り佐七	森岡 星太
二丁目新助	池田 龍の介

後見 長縄 秀平
お花 衣紋坂利平
はな 上田 蒼空
上田 佳穂

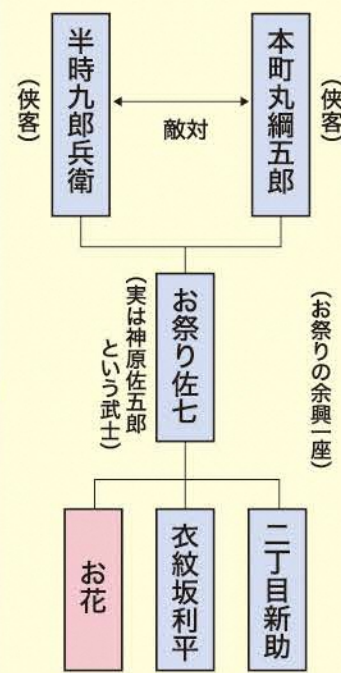
イヤホン同時解説

おくだ健太郎氏

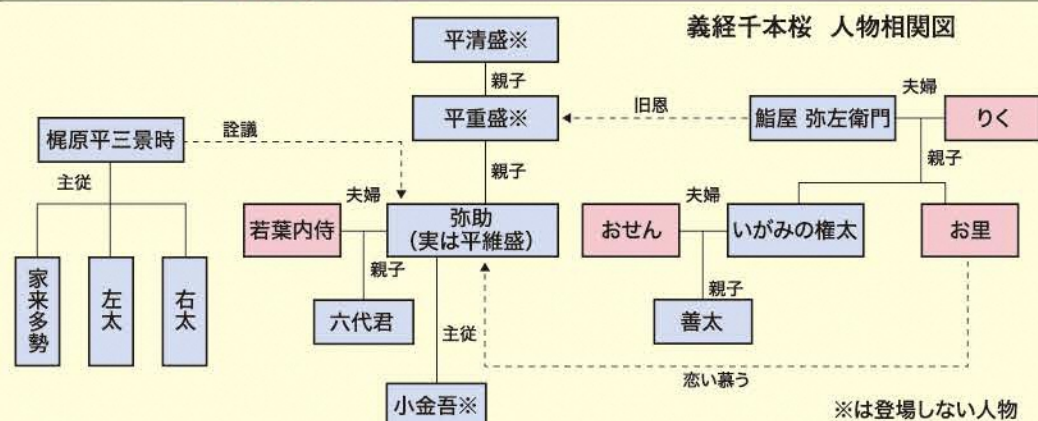
名古屋出身。早稲田大学政経学部卒業後、大歌舞伎のイヤホンガイド解説者としてデビュー。その後二十五年あまり、歌舞伎座や御園座などで解説員を歴任。また、歌舞伎ソムリエの呼称で、執筆や講演、YouTubeの発信など、幅広く活躍している。



糸桜本町育 人物相関図



義経千本桜 人物相関図



協力

振付指導	松本 団女	顔師	松本 宙士
太夫	竹本 美芳		松本 茂み
三味線	豊澤 順八		松本 匠平
下座	松本 奈津美		衣裳
			床山
			松本 真由美
			着付
			松本 美登里
			三宅 恵里奈
			松本 衣裳